

春季彼岸会法要
三月二十一日(火)午後二時三十分勤修
子供会報告
詳細は2頁
詳細は3頁



報恩講



修正会参詣



修正会勤行

光照寺寺報

発行所

真宗大谷派 弘興山
宗教法人光照寺

〒331-0821

さいたま市北区別所町102-2

電話：048-651-2781(代)

FAX：048-651-2753

E-mail

yasuragi@beige.ocn.ne.jp

ホームページ

http://koshoji76.jp

発行人 住職 池田孝三郎

親鸞聖人のみ教えに聞く会

- ◆ 令和5年5月12日(金)
- ◆ 午後1時30分～4時30分
- ◆ テキスト:『教行信証』
- ◆ 講師:延塚知道先生(大谷大学名誉教授)
- ◆ 会場:光照寺本堂
- ◆ 会費:500円

※ご参加の方は事前に当寺へお申し込み下さい。



春季彼岸会法要

- 3月21日(火)春分の日
- 午後1時30分～3時まで(1時受付)
- 光照寺本堂にて
- 勤行・法話

※準備の都合上、出席人数をご連絡下さい。
預骨されている方は率先してお参り下さい。
ご参詣をお待ちしております。

彼岸参り

- 3月18日(土)～24日(金)の期間
(但し21日は除く)

※ご希望の日にちをお知らせ下さい。時間につきましてはこちらで調整させていただきます。ご自宅か当寺のいずれかで読経いたします。

ひとくち 歎異抄

羅漢:「なんじは誓願不思議を信じて念仏申すか、また名号不思議を信ずるか。」はいかに。第11章



「誓願・名号の不思議ひとつにして、さらにことなることなきなり。」

川越喜多院の五百羅漢



ヨガ1



ヨガ2

寺ヨガ

お寺でヨガを毎週月曜10時～12時開催しています。インストラクターはトモヨさん。南インドの先生より古典ヨガを習得。初めての方も歓迎です。ご興味の方は当寺までお問い合わせ下さい。

子供会報告

光照寺子ども会ポニークラブ

子ども報恩講

大塚 陽子

令和四年十二月二十六日(月)

に、大人十二名子ども十名の参加により、勤行、前坊守挨拶、初参加の方もおり自己紹介し、大塚がジャータカ物語、かしこいのはだあれの絵本の読み聞かせの後、少し仏法のお話をし、大間真弓さんに絵本の読み聞かせとゲームをしていただきました。その後、手作りケーキを食べ、唯奈ちゃん坊守によりなぞなぞクイズをして、前坊守のお正月の替え歌を皆さんで歌い、音楽に合わせてプレゼント交換もして楽しみました。

今回はお寺で過ごし、初参加の子もいましたが、皆さんすぐにうちとけて、楽しく過ごしていました。次回は四月四日(火)です。ご参加お待ちしております。



真の依り処

阿弥陀様いらっしゃるしやいますか。私の師匠棟暁先生の一周忌が一月六日東京のお寺で営まれ、ありし日の先生をしのび、人生の無情が真実と教えられた事を深く感じさせて頂きました。何も解らない私が先生から教えるを頂き今があります。最初に左記を覚えて下さいました。この大切な三つを励行して下さい。一、仏様とはどんな人か(仏様はわれは南無阿弥陀仏と申すものであると名のつておいでになります。)二、その仏様はどこに居られるか(われを南無阿弥陀仏と念じ称える人の直前においてになります。)三、そんならその仏を私達が念ずるにはどのような方法がありますか。(南無阿弥陀仏と一念疑いなく自力のはかりをすてて静なる心をもって仏願くばこの罪深き私をたすけて下さい。)

曾我景深先生
南無阿弥陀仏 岡田ノリ子

鈴の音

これでもまんざらではない
というのをブチ壊すのが
私の智慧の光です

米沢英雄

(何のために人間に生まれたか)より

お知らせ

— 寺務所より —

- 法要のご案内
●春季彼岸会法要
三月二十一日(火)、午後一時三十分より勤修。
- 光照寺護持会
会員の方は護持会費の納入をお願い致します。又、随時新会員受付中。別紙案内をご覧下さい。総会は六月二十日。
- 聞法会のお知らせ
親鸞聖人のみ教えに聞く会再開。講師は延塚知道先生(大谷大学名誉教授)五月十二日、午後一時三十分～四時三十分。『教行信証』を学んでいます。ご参加の方は事前に当寺へご連絡下さい。会費五百円。
- 大経の会
二月二十二日、十二月十五日、午後二時～四時。講師は住職。『正信偈讃仰』(七)を学んでいます。
- 我聞の会
三月八日、四月十二日、五月十七日、午後二時～四時。『歎異抄』を学んでいます。講師は住職。
- 微風学会
三月二十九日、四月十九日、五月十日、午後二時～四時。講師は住職。『高僧和讃講義(二)』(延塚知道著)を学んでいます。
- サークル
●聲明サークル、三月一日、五月三十一日、七月二十七日。午後二時～四時。講師は住職。

- 絵解きサークル、二月二十四日、四月二十六日、六月十二日。
- 子供会
四月四日(火)花まつりです。
- 寺ヨリガ
お寺でヨガ。毎週月曜十時～十一時。講師トモヨ先生。興味ある方はお問い合わせて下さい。
- お願い
ご自宅で法事の際は駐車場をご用意下さい。マスク着用と換気を宜しくお願いします。

住所・電話番号変更の際は必ずご連絡下さい。

俳句・川柳



吉澤 光昭

春浅し歩荷の背負ふガスボンベ
人里と読めぬ苦屋の斑雪かな
凍瀧の音のかすかや壺に落つ
春光や鍬一本の頼もしき
返返る窓に補習の受く少年

短歌(詩)

佐々木 玄吾



手のひらの骨折治療六か月
妻の通院 今日も付き添う
恵まれて新しき年迎えたり
師の御意を 尋ねてゆかん

離郷の地 方言まじりの報恩講
望郷へのおもい
うなづきながら

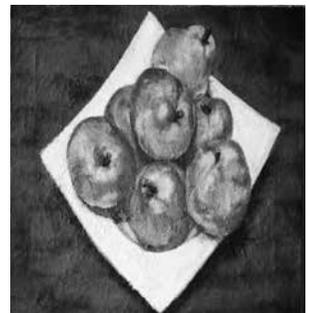
桜の木
我が背丈より二又に
わかれても末に
逢わんとぞおもう

釋尼 眞教(大間真弓)
有り難き 光を知るや 闇の夜に
忘れし春の 遠きゆめみし

篠原 潤子
友の文ポストに見つけニンマリす
二度とない今日たそがれてゆく
ドローンでカイロ届けてやれず

戦下なかひもじく寒い人達に
山陰の妙好人を知る冬や因幡の
源左浅原才市

どうしても才市の歌を読みたたくて
捜しあてたヨ南無阿弥陀仏



洋梨(ラ・フランス) 山田 邦興 画

梵鐘

一生懸命、真剣に生きてきたつもりだったが、よくよく考えてみれば何に一生懸命だったのだろうか。真面目に努力することは当たり前だと思っていたが、その一生懸命は何の為かといえ「楽」を求める為だったのではないか。何が良いか分からないままに、一生懸命に取り憑かれていた。物事は変化し縁の有り様で心は右往左往し、自己の内面にフツツと湧き上がる我執と戦いながら人を氣遣ったふりをする。どうにもならない自己の本質を問うてくれたのが親鸞聖人の教えであり、ここに生かされている。唯、南無阿弥陀仏。その上で一生懸命体質は続く。
釈尼雅亮